

「相模トラフ沿いの巨大地震等による長周期地震動検討会」の開催について

平成28年1月18日
内閣府政策統括官（防災担当）決定

1. 趣旨

南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動については、本府にて開催した「南海トラフの巨大地震モデル検討会」及び「首都直下地震モデル検討会」によって、「南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動に関する報告」として取り纏め、平成27年12月17日に公表した。

今般、相模トラフ沿いの巨大地震等による長周期地震動について、最新の科学的知見を幅広く整理及び分析し、防災の観点から検討を行うため、「相模トラフ沿いの巨大地震等による長周期地震動検討会」（以下「検討会」という。）を開催する。

2. 構成員

- (1) 検討会は、別紙に掲げる有識者をもって構成し、内閣府政策統括官（防災担当）（以下「統括官」という。）が開催する。統括官は、必要と認める場合、構成員を追加することができる。
- (2) 統括官は、有識者の中から、検討会の座長を依頼する。
- (3) 検討会は、必要に応じ、その他の関係者の出席を求めることができる。

3. 検討会の庶務

検討会の庶務は、内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）において処理する。

4. その他

前各項に定めるもののほか、検討会の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

相模トラフ沿いの巨大地震等による長周期地震動検討会
構成員

	入倉 孝次郎	愛知工業大学客員 教授
	北村 春幸	東京理科大学理工学部長・建築学科 教授
	小鹿 紀英	株式会社小堀鐸二研究所 副所長
	久田 嘉章	工学院大学建築学部まちづくり学科 教授
座長	平田 直	東京大学地震研究所 教授
	福和 伸夫	名古屋大学減災連携研究センター長・教授
	古村 孝志	東京大学地震研究所災害科学系研究部門 教授
	翠川 三郎	東京工業大学大学院総合理工学研究科 教授
	三宅 弘恵	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 准教授
	山崎 文雄	千葉大学大学院工学研究科 教授
	山中 浩明	東京工業大学大学院総合理工学研究科 教授

【五十音順、敬称略、役職は平成 28 年 1 月 18 日現在】